

向井潤吉の画業をめぐって

# 風土の美、そして民家



遅れる春の丘より [長野県北安曇郡白馬村北城] 1986年



自画像 1919年



司厨夫 1928年



石狩川河口の家 1967年

2003年 8月2日(土) → 11月30日(日)

開館時間 = 午前10時～午後6時 (入館は5時30分まで)  
休館日 = 毎週月曜日 (ただし祝日と重なった場合は翌日)  
観覧料 = 一般200円 (160円) 大高生150円 (120円) 中小生100円 (80円)  
65歳以上及び障害者の方100円 (80円)  
( )内は20名以上の団体料金 土・日・休日は小・中学生は無料 夏休み期間中、小・中学生は無料

世田谷美術館分館  
向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL 03-5450-9581

向井潤吉の画業をめぐって

# 風土の美、そして民家

向井潤吉は1901年(明治34年)、京都下京区に生まれました。幼い頃から絵画を描く事に関心を持ち、やがて(油絵)に強い興味を抱くようになっていきます。13歳で京都市立美術工芸学校の子科に学び、その後、15歳から約4年間にわたって、関西美術院に籍をおき、本格的に油彩画を学ぶようになりました。

関西美術院では、伊藤快彦、沢部清五郎、都鳥英喜らの指導を受け、学院創設者の浅井忠、鹿子木孟郎以来の伝統となっていた几帳面で厳格な素描を徹底して学んでいます。向井潤吉の画家としての礎石は、写実表現を探索していくために不可欠な素描力を養うことによって、築かれていったのです。さらに向井は上京、川端画学校に学び、1927年(昭和2)には渡欧し、パリを拠点にして1930年まで滞欧しています。

滞欧中の向井潤吉はルーヴル美術館に日参し、古典名画の模写に専念し、これを通じて、長い歴史をもつ西洋美術の伝統と本質に向き合い、表現、色彩、画材研究に取り組みました。そのいっぽう、向井はアカデミー・ド・ラ・グラン・シヨミエールに夜ごと通い、裸婦のクロッキーに紙数を重ねています。5分間で次々とポーズをかえていく、モデルを鉛筆一本で追いかけることを繰り返し、均整よく限られた紙面の中に収めていく修練は、短時間で対象の特徴をとらえる、画家としての確かな眼と、端的な描写力を培うことになったようです。

向井潤吉が、草屋根の民家という題材に出会い、それを強く意識しはじめたのは、戦後まもない昭和20年、秋のことでした。

戦時中には陸軍報道班員として戦争記録画の制作に従事し、戦争という異常な状況のなかでさまざまな出来事を見聞してきたことは、想像に難くありません。

日本の伝統的な住まいである草屋根の民家に、そして民家を中心とした人々の営み、さらにそのすべてをつつみこむ風土というものに、向井潤吉の関心が傾倒していった背景には、戦争体験を通じて触発された、戦禍に対する複雑な心情があったのではないのでしょうか。

向井潤吉の民家を求める旅路は、約40年間に及び、この間に訪れた地域はほぼ全国に及んでいます。とりわけ、埼玉県、長野県、京都府、岩手県への取材は繰り返して行われ、民家を主題とする膨大な作品を制作しました。

向井潤吉のたゆまぬ制作旅行の成果は、その体験をもって描き出された諸作品が、なによりも雄弁に物語るところであります。民家は自然、風土と一体となって、人々の暮らしの中に溶け込み、生活そのものの拠りどころとなってきました。向井潤吉はそのことを敏感に感じとり、その感性は、一枚、一枚の作品に確実な描写となって、反映しているようです。

向井潤吉が取材したほとんどの民家が匿名的存在でありながらも、その大地に根ざした確固たる存在は、歴史に培われた光彩を放ち、さらに優しいぬくもりと、つつましくも凛々しい日本的な気品があふれているようです。

本展は、向井潤吉アトリエ館の開館10周年を記念し、当館ならびに世田谷美術館の所蔵作品によって、向井潤吉の画業をたどろうとするものです。



裁縫をする若き女【ミレーの模写】1928年



山居立春【神奈川県足柄上郡山北町世帯】1975年



春曙【埼玉県川越市郊外】1984年



奥丹波の秋【京都府船井郡丹波町】1969年



叢中の梅【埼玉県東松山市神戸】1987年



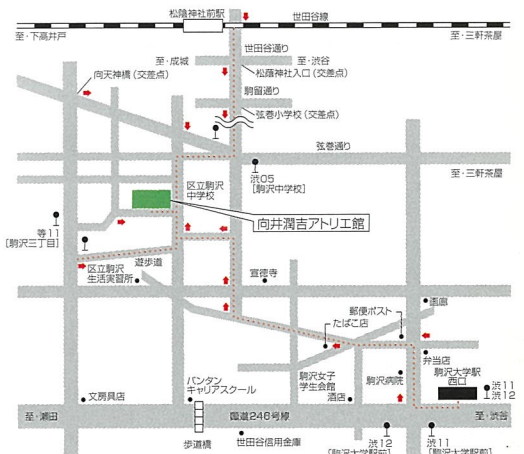
街の力士1928年

## 世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL.03-5450-9581

### ●最寄り交通機関のご案内

- 東急田園都市線【駒沢大学】駅 西口 下車/徒歩10分
- 東急世田谷線【松陰神社前】駅 下車/徒歩17分
- 東急バス(渋05) 渋谷～弦巻営業所 【駒沢中学校】 停留所下車/徒歩3分
- 東急バス(等11) 祖師谷折返所～等々力【駒沢三丁目】 停留所下車/徒歩3分
- 東急バス(渋11) 渋谷～田園調布 【駒沢大学駅前】 停留所下車/徒歩10分
- 東急バス(渋12) 渋谷～二子玉川 【駒沢大学駅前】 停留所下車/徒歩10分



●は案内板の位置です。